

飯田水引PJ

新たな挑戦、水引で装飾品

9月に
ポーラ銀座店で展示販売

飯田水引の知名度向上、販路拡大などを旨し海外展開やワークショップの開催などに取り組み、飯田商工会議所と飯田市内の水引製造会社4社でつくる「シヤパンブランド飯田水引プロジェクト」(唐澤秀寛代表)は、デザイナーの加藤尚子さん(東京)とのコラボレーションにより水引を使った装飾品を製作した。9月14日から20日に、東京都のポーラサビュティー銀座店で開かれる「NAOKOKATO オフショリー展2016」で展示販売する。水引を装飾品に生かす新たな挑戦で、近年続く需要低迷の打破を目指す。

加藤さんは「オフシエ」が中心となつてい目。飯田商議所を通じ

企画展の開催を持ちかけたという。この10月に話を受けた同プロジェクトでは「水引の新たな可能性を示すまたとないチャンス『ポーラ』というテーマバリエーションを生かさない手はない」と快諾。デザインなど加

藤さんとの打ち合わせを重ねながら、6月ごろに製作アイテムを具現化させると、以降試作を繰り返してきた。今回出展するのは、金属製ワイヤの土台に水引を市松模様で編みこんだチョーカー(直径約15cm)をはじめ、

水引をレース編みにしたネックレスやイヤリング、ヘアゴム、飾りチョーカー、リングネックレスなど多岐にわたる。どれも水引特有の美しい色合いが光る。一品一品手づくりのため、販売数は各商品3〜5点と限定的。展示会での反響を見ながら、受注生産していく構えだ。



金属製ワイヤに水引を巻いたチョーカー

唐澤代表(59)は「最初は本気でできるのかと不安もあったが、水引の可能性を広げる良い挑戦になった。加藤さんとのやりとりを通じ、自分たちの中の常識を破ることもできた。後は受け入れるかどうか」と

期待。24日、展覧会前技とアイデア、蓄積された最後の打ち合わせに飯田商議所を訪れた加藤さんは、商品の出来栄を生み出してもらった「職人の皆さんの」と笑顔を見せた。



打ち合わせを行う加藤さんとPJメンバー

休日夜間急患診療所
☎23-3636(飯田市東中央通)

内にある福祉施設、3年生は自分の興味ある少しいでも保育所の現状を知ってもらえれば」と

立の歩
6時